

今シーズンは暖冬の見通しですが備えは必要

- ◆近畿日本海側の12月～2月の天候は、冬型の気圧配置が弱いため、例年より気温は高く、降雪量も少ない予報とされています。
- ◆ただし、天候は周期的に変化します。一時的な寒波や降雪に見舞われることも想定されますので、例年どおり備えは必要です。
- ◆被害発生時は人命第一に、十分注意を払って対応してください。



降雪時

全般

- 滑り難い靴を履いて作業する
- 排水路等、倒壊の恐れのある施設等には近づかない
- 雪下ろし作業は複数人で行う
- 荒天時の作業は要注意

畜産関係

- 家畜、畜舎への直接被害防止
- 幼畜、幼雛の呼吸器、消火器疾患予防のための防風、防寒
- 保温設備を点検し、火災予防
- 飲み水の凍結防止

融雪時

全般

- 降雪の復旧作業は人命第一
- 除雪作業は安全確保を徹底
- 落雪の恐れのある屋根の上または軒下での作業は注意
- 排水路等の増水にも注意

畜産関係

- 落雪事故防止
- 融雪水の農場敷地、畜舎、飼料保管庫、たい肥舎等への侵入防水のための排水路の確保
- 必要に応じて融雪剤の散布